

| |
|----------|
| 公 表 日 |
| 令和 年 月 日 |

随意契約結果及び契約の内容

| | |
|------------------------------|--|
| 業務の名称 | 令和元年度耶馬溪ダム緊急対策（洪水調節容量の再検証）検討業務 |
| 業務概要 | 別紙のとおり |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 山国川河川事務所長 鹿毛 英樹 中津市大字高瀬1851-2 |
| 契約年月日 | 令和 元年 9月25日 |
| 契約業者名 | 日本工営（株） |
| 契約業者の住所 | 福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12 |
| 契約金額 | 24,970,000円（税込み） |
| 予定価格 | 24,970,000円（税込み） |
| 随意契約によることとした理由 | 別紙のとおり （※随意契約理由書を添付すること。） |
| 業務場所 | 山国川河川事務所管内 |
| 業種区分 | 土木関係建設コンサルタント業務 |
| 履行期間（自） | 令和 元年 9月26日 |
| 履行期間（至） | 令和 2年 3月20日 |
| 備考 | 入札情報サービス（PPI） （ http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx ） にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。 |

契約理由書

1. 業務件名 令和元年度耶馬溪ダム緊急対策（洪水調節容量の再検証）検討業務
2. 履行場所 山国川河川事務所管内
3. 契約の相手方 住所：福岡市博多区東比恵1-2-12
会社名：日本工営株式会社 福岡支社
代表電話：(092)475-7131

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、より効果的なダム操作を行う上での治水容量の再確認等、有効活用などについて検討を行う業務である。

2) 業務の内容

- ・計画準備
- ・貯水容量の再確認（提案した測量技術の実施含み）
- ・ダムH-Vの再検討
- ・貯水池土砂管理の手引き（案）による点検
- ・治水容量の有効活用を踏まえた、ダム操作の運用再検討
- ・検討結果を踏まえた有効活用方法の見直し
- ・報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断され、かつ、実施方針及び評価テーマ【耶馬溪ダムの貯水池の治水容量を有効活用する上での留意点及び貯水容量を検証する手法（測量技術）について】に対する技術提案において、最も優れた提案を行ったものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

山国川河川事務所 ダム管理課長